

町長施政方針（要約）



若い世代の
望みがかなう
社会の実現を目指す

鈴木重男町長

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外を問わず感染防止対策に追われ、現在は「新しい生活様式」や「新しい働き方」などが取り入れられ、こうした状況の変化に柔軟かつ、速やかに一歩を踏み出すことが、大きなチャンスをつかむ機会につながるものであり、新たな取組みに積極的に挑戦して参ります。

特に未来を担う子ども達や若者のため、結婚や出産、子育てに希望を持ち安心して暮らせる環境の整備が重要であることから、基幹産業の振興のみならず、新たな起業や雇用の確保による所得の向上に努めるほか、住宅、子育て、教育などの環境の充実と負担の軽減、さらにはきめ細やかな支援などにより、若い世代の望みがかなう社会の実現を目指して参ります。

教育行政施政方針（要約）



子どもを安心して
産み育てられる
子育て支援を推進

高畑嗣人教育長

3年度は、葛巻保育園と小屋瀬・江刈・五日市の3分園を認定こども園として一貫した経営による保育の充実を図ります。

小学1年生から中学3年生までの学費と町内の小中学校及び高校入学時の新入学用品費などの支援を図る「学び輝く“ひと”づくり支援事業」の立ち上げを通して「子どもを安心して産み育てられる子育て支援」を進めて参ります。

若い世代の



イベントに参加する子どもを見守る保護者

当初予算額

会計名	予算額
特別 国民健康保険事業	8億5,823万円
特別 農業集落排水事業	2億2,131万円
特別 後期高齢者医療事業	8,274万円
小計	11億6,228万円
企業 病院事業	12億1,137万円
企業 水道事業	3億5,756万円
小計	15億6,893万円

※病院事業会計と水道事業会計は、収益的収支の支出額と資本的収支の支出額を合算した額

特別・企業会計

三つの特別会計の当初予算総額は、11億6228万円の前年度に比べて2405万円、2・1割増加しました。二つの企業会計の当初予算総額は、15億6893万円の前年度に比べて4429万円、2・9割増加しました。

了により、収益的支出と資本的支出の総額が1524万円、1・2割減少しました。水道会計は、大橋排水管工事、馬淵川（北部）地区の水道施設基本設計策定業務などの新規事業により、収益的支出と資本的支出の総額が5953万円、約2割増加しました。

工事費などで増

3年度 当初予算を決定 定住をしっかりとサポート

3月定例会議

3月定例会議は、3月5日から16日までの12日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、高畑教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は3年度一般会計予算など17件で、原案どおり『決定』しました。一般質問では3人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

前年より約2億円減 一般会計

3年度の一般会計当初予算は、65億3699万円の前年度に比べて2億6016万円、3・8割減となっています。

自主財源が増加

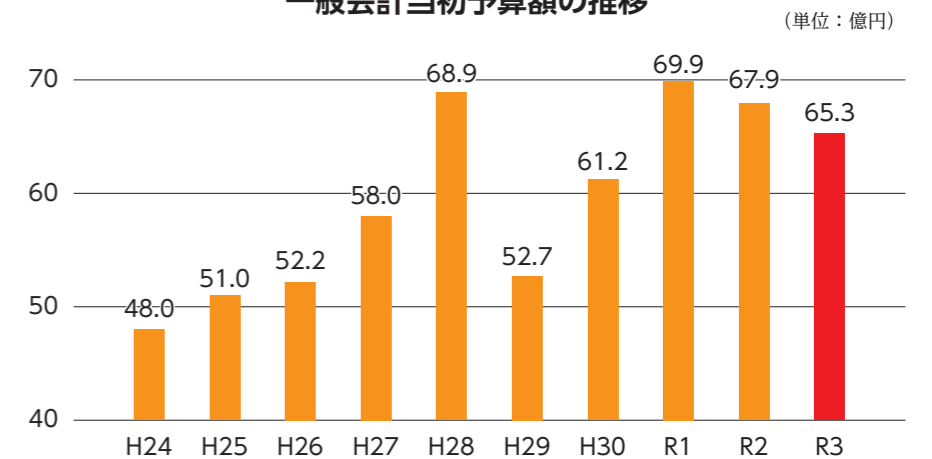
収入は全体の46・5割を占める地方交付税が30億4000万円、前年度に比べて1000万円、0・3割減少しました。町税は6億1421万円、前年度に比べて1億

新規事業が充実

支出は、学び輝くひとづくり支援事業、森林雇用促進住宅工事、町産材を活用し整備する木

4124万円、29・9割の増加で、葛巻第二風力発電施設の稼働に伴う固定資産税の増などによるものです。基金からは3億8272万円を繰入れ、各種まちづくり事業の財源となります。自主財源の割合は19・2割で、前年度に比べて2億1338万円、20・5割増加しました。

一般会計当初予算額の推移



約10年前は公債費や人件費の抑制に努め、財政の健全化に取り組んでいた時期でした。

平成27年度から江川小学校校舎改築、葛巻病院改築、養護老人ホーム葛葉荘改築、町道茶屋場田子線改良整備など、さらに令和元年度からは新庁舎建設など老朽化した公共施設等の更新や、新たな基盤施設の整備に積極的に取り組んでいます。